

SDGs & BUSINESS REPORT 2022

シンクラングループ
SDGs & ビジネスレポート

thinkrun HD

thinkrun HD

2021
ハイライト

オペレーションを 止めない!

》新型コロナウイルス感染症への対応

私たちは清涼飲料水、生活用品をお客様にお届けするという社会インフラの一翼を担っていることを自覚し、BCP(事業継続計画)に基づく感染症対策を徹底して行い、自らそしてステークホルダーの皆様の安全を守り、エッセンシャルワーカーとしての責任を果たしています。

感染予防対策品を従業員へ配付



不織布マスク、
携帯用(ペン型)消毒スプレー



除菌製品



従業員用マスクの安定供給



自動販売機の
消毒を実施しました



感染予防啓発ポスターを
掲示し社内での
周知徹底を図りました



》大規模災害への対応

パンデミック以外のリスクである地震、風水害に備えたBCP(事業継続計画)も策定しています。

また、計画の実効性を確保するため、訓練と見直しによるPDCAサイクルを回しています。



シンクラングループBCP(抜粋)



断水時における緊急物資の輸送(和歌山県)



風水害対応模擬訓練

1

2021ハイライト～「オペレーションを止めない!」～

3

Contents

4

SDGs & ビジネスレポートについて

Section 01

企業情報

5

数値で見るシンクラングループ、主なお客様

6

シンクラングループの概要、役員、沿革

Section 02

SDGsへの
取り組み

7

シンクラングループの事業活動とSDGs

シンクラングループがSDGsに取り組む理由

重点項目とSDGs

9

トップメッセージ

11

安全・安心《運輸安全》、《労働安全衛生》

15

顧客満足

17

コンプライアンス

18

リスクマネジメント

19

人権尊重と従業員の働きがい

21

地域社会との共生

22

環境推進



当レポートの位置付け・役割

当レポートは、シンクラングループのSDGs(持続可能な開発目標)に関する取り組みをまとめたものです。

当社グループは、企業の社会的責任(CSR)を果たすためのさまざまな取り組みを展開しており、当社グループを支えてくださるステークホルダー(利害関係者)の皆様(顧客、お取引先様、当社グループ従業員および地域社会)に私たちのCSRの取り組みをお伝えするため、2019年からコミュニケーションツールとして「CSRレポート」を発行してきました。

本年度からは持続可能な社会の実現に向けて、SDGsに積極的に取り組む姿勢をお伝えするため、「SDGs & ビジネスレポート」に名称を変更して発行することいたしました。2015年に国連で採択され、世界中で取り組まれているSDGsに関して、シンクラングループの重点項目と関係性の高いSDGsの目標を定めて、事業を通じた社会課題の解決に取り組んでいきます。

SDGs(エスディーゼズ)について

SDGsは、2015年に国連サミットで採択された「持続可能な開発目標」(Sustainable Development Goals)のことで、社会、経済、環境といった世界的な社会課題の解決に向けた2030年時点における世界共通の目標です。

2030年までに達成を目指す17の目標と169のターゲット(達成基準)から構成され、これらの目標達成のために、世界各国の政府のみならず、自治体、企業など、あらゆる組織・個人が協力して取り組むことが求められています。



編集方針等について

編集方針

当レポートでは、シンクラングループが社会の一員として果たすべきSDGsに対する考え方や活動を報告しています。

報告対象範囲

シンクラングループのうち、主に株式会社シンクランホールディングス、株式会社シンクラン、株式会社TEAMS、株式会社ONE MISSION、株式会社ティーアールネットの活動を報告しています。

報告対象期間

2021年度(2021年1月～2021年12月)

(注) 例年実施している活動の中には、コロナ禍の影響により2021年度は中止または延期したのものもあり、当該活動については2020年度以前の内容を掲載している場合もあります。また、報告内容には2022年度の活動も一部含まれています。

発行時期

2022年3月

参考にしたガイドライン

「GRIサステナビリティ・レポートニング・スタンダード」

このレポートに関するお問い合わせ先

〒920-0057

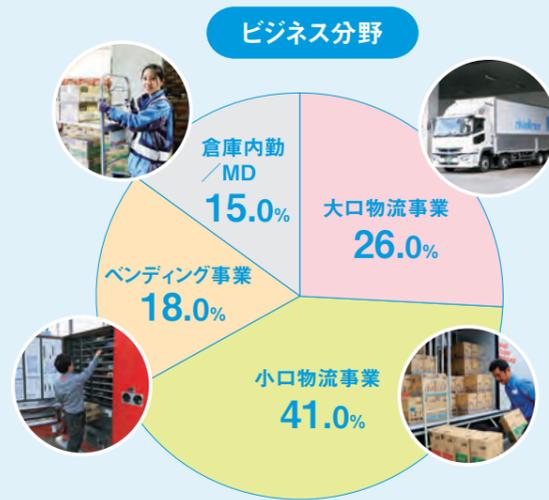
石川県金沢市桜田町1丁目1番地

株式会社シンクラン

TEL:076-232-5111

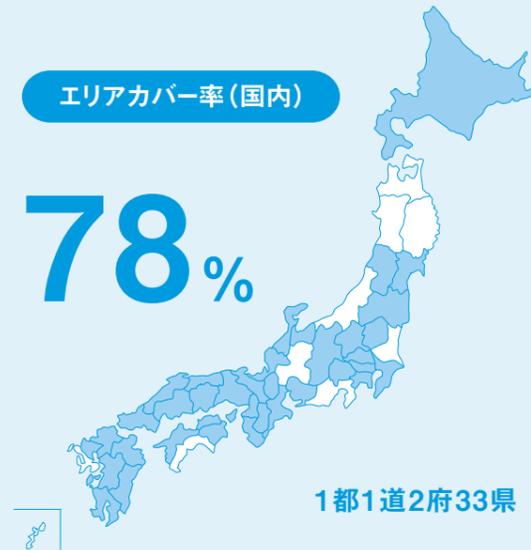
FAX:076-262-1555

数値で見るシンクラングループ



エリアカバー率(国内)

78%



拠点数

国内 **142** 拠点



納品店舗数

約 **24万** 店



パートナー社

120 社



自販機オペレーション

約 **54,000** 台



従業員

2,964 名



年間取扱いケース数

約 **9,000万** ケース



貨物車両保有数

1,368 台

主要なお客様(五十音順)

コカ・コーラシステム関連

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社
北陸コカ・コーラボトリング株式会社
北海道コカ・コーラボトリング株式会社
Coca-Cola Singapore Beverages Pte.Ltd.
Coca-Cola Beverages Philippines, Inc.
Coca-Cola ThaiNamthip Ltd.
SWIRE Coca-Cola Beverages Ltd.

一般輸送関連

アサヒロジ株式会社
花王ロジスティクス株式会社
株式会社あらた
株式会社サカイ引越センター
株式会社PALTAC
株式会社ビーイングホールディングス
株式会社フードレック

カメイ物流サービス株式会社
九州センコーロジ株式会社
キリングroupロジスティクス株式会社
日本通運株式会社
ヤマト運輸株式会社
ユニバーサル製缶株式会社

シンクラングループの概要 ※2022年4月1日時点

会社概要(株式会社シンクランホールディングス、株式会社シンクラン)

名称	株式会社シンクランホールディングス	株式会社シンクラン
設立	2016年3月18日	1971年10月28日
決算期	12月	12月
資本金	1,000万円	1億円
代表者	代表取締役会長 兼 CEO 鶴賀 裕行 代表取締役社長 兼 COO 鶴賀 大輔	代表取締役社長 鶴賀 大輔
本社所在地	石川県金沢市桜田町1丁目1番地	石川県金沢市桜田町1丁目1番地
主な事業	グループにかかわる事業方針・戦略の立案および 推進ならびにグループの業績管理	貨物自動車運送事業

グループ各社

社名	主な事業
株式会社TEAMS	海外における自動販売機事業拡大支援等のグローバル事業
株式会社ONE MISSION	安全運転推進支援事業
株式会社ティーアールネット	グループ内シェアードサービス事業
さわやかリテールサポート株式会社	北陸エリアを中心とした清涼飲料水販売オペレーション事業
株式会社ケーエルシー	ロジスティクスコンサルティング事業
株式会社エル・コーポレーション	グループ車両管理事業/保険代理店事業
BEVPRO ASIA Co., Ltd.	タイでの清涼飲料水の販売機器メンテナンス事業

役員 ※2022年5月1日時点

株式会社シンクランホールディングス

代表取締役会長 兼 CEO 鶴賀 裕行
代表取締役社長 兼 COO 鶴賀 大輔
取締役 兼 CSO 吉野 直樹
取締役(非常勤) 滝澤 てつや
取締役(非常勤) 石橋 達成
監査役(非常勤) 鶴賀 紗世

株式会社シンクラン

代表取締役社長 鶴賀 大輔
取締役 高木 恭一 管理本部長
取締役 石田 貴英 営業本部長
監査役(非常勤) 鶴賀 美佐子
監査役(非常勤) 五十嵐 光由

株式会社TEAMS

代表取締役社長 樽舘 直行
取締役 鶴賀 大輔
取締役 吉野 直樹
監査役(非常勤) 井上 充洋

株式会社ONE MISSION

代表取締役社長 森山 明能
取締役 鶴賀 大輔
取締役 石田 貴英
監査役(非常勤) 井上 充洋

株式会社ティーアールネット

代表取締役社長 鶴賀 大輔
取締役 鶴賀 裕行
取締役 田中 由利
取締役(非常勤) 北 恵子
監査役(非常勤) 井上 充洋

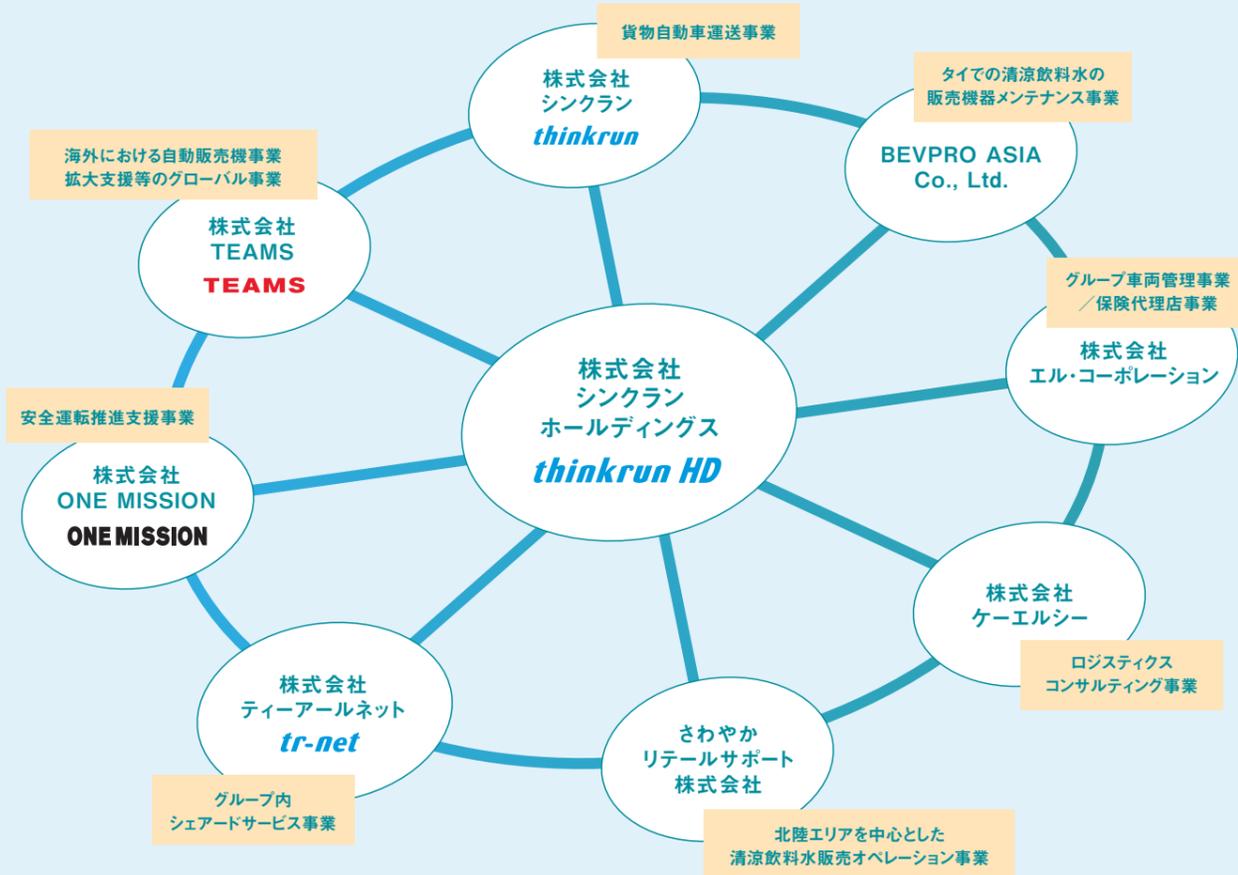
沿革

1971年(昭和46年) 北陸サービス株式会社設立
1974年(昭和49年) 北陸コカ・コーラボトリング株式会社と取引開始
1984年(昭和59年) 北陸サービス株式会社より分社、アトム運輸株式会社設立
1985年(昭和60年) この年以降、国内各コカ・コーラボトラー社と取引開始
2008年(平成20年) F&N Coca-Cola(シンガポール)と取引開始 以降、海外事業拡大
2015年(平成27年) アトム運輸株式会社から株式会社シンクランへ社名変更
2016年(平成28年) LOGISTICS ASIA 社と共同出資で「BEVPRO ASIA Co., Ltd.」を設立
2017年(平成29年) CQベンチャーズ株式会社と共同出資で「株式会社TEAMS」設立(2019年に100%子会社化)
2019年(平成31年) 人材派遣事業会社「株式会社ONE MISSION」設立
2021年(令和 3年) 「株式会社シンクランホールディングス」を稼働し、持株会社体制に移行
創業50周年を迎える
2022年(令和 4年) 人材派遣事業会社「株式会社ONE MISSION」を株式会社シンクランに吸収合併し、
新たに安全運転推進支援事業会社「株式会社ONE MISSION」を新設(4月予定)

SDGsへの取り組み

》シンクラングループの事業活動とSDGs ※2022年4月1日時点(予定)

シンクラングループは、持ち株会社である株式会社シンクランホールディングスを中心に、各事業会社が相互に関係性を持ち、協働してシナジー効果を発揮することで企業価値の向上を目指しています。



シンクラングループがSDGsに取り組む理由

昨今では、持続可能な社会への取り組みが企業価値をはかる指標の一つになっています。2015年に国連サミットで採択されたSDGsは、社会、経済、環境といった世界的な社会課題の解決に向けた世界共通の目標です。この目標達成のためには、世界各国の政府、自治体、個人だけでなく、企業も事業活動を通じて協力して取り組むことが求められています。当社グループでは、SDGsの目標を意識しながら事業活動を推進していくことが、ステークホルダーの皆様のお役に立ち、ひいては社会課題の解決につながることを考えています。

重点項目とSDGs

当社グループは、事業を通じて社会的課題の解決を図り、持続的な成長を目指しています。活動にあたっては、事業内容や現状の課題等に基づき、社会的責任を定義付けした上で、「7つの重点項目」を設定して取り組みを行っています。そして、各活動と親和性の高いSDGsを特定し取り組みを進めています。

7つの重点項目	関連するSDGs	取り組む活動テーマ
安全・安心 《運輸安全》 《労働安全衛生》	3, 8	<ul style="list-style-type: none"> 安全運転の推進 安全運転技術の向上 安全運転教育の実施 安全運転啓発情報の発信 労働災害発生抑止 健康経営の推進
顧客満足	6, 7, 8, 9, 12, 13, 14, 17	<ul style="list-style-type: none"> 顧客接点の強化 顧客活動への貢献 価値ある営業の実践 オペレーション品質の向上 海外ビジネスモデルの進化 事業基盤の強化 各プロジェクトへの参画
コンプライアンス	10, 16	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス意識の醸成 公正な購買取引の推進 社内自浄作用の向上 社内規程・社内ルールの整備 業務の合法性・合理性の確保
リスクマネジメント	3, 9, 11, 13, 16	<ul style="list-style-type: none"> ERM(全社的リスク管理体制)の推進 危機発生時の迅速な対応 情報セキュリティに関するリスク管理の整備
人権尊重と従業員の働きがい	4, 5, 8, 10	<ul style="list-style-type: none"> 人権意識の啓発 ダイバーシティの推進 人財の開発 ワークライフバランスの推進 コミュニケーションの活性化
地域社会との共生	3, 17	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ活動の支援、スポーツ振興事業への協力 地域安全活動の推進
環境推進	6, 7, 9, 11, 12, 13, 14, 15	<ul style="list-style-type: none"> 使用燃料の削減 地域美化活動への参加

トップメッセージ

》 持続可能で豊かな共創社会をめざす



昨年、株式会社シンクランは皆様と共に、創業50周年という大きな節目を迎える事ができました。この50年間、私たちが事業を続けてこられたのは、ひとえにお客様、お取引先様をはじめとするステークホルダーの皆様のご多大なるご協力、ご尽力をいただいたからこそであり、心から感謝申し上げます。

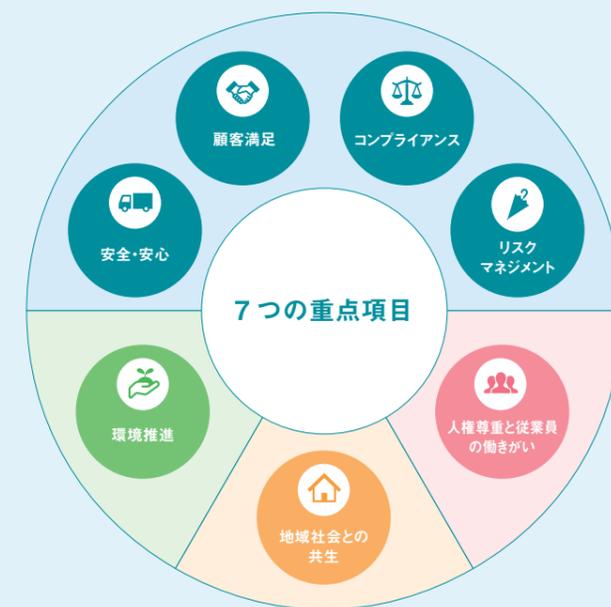
今年、2022年は次なる「100年企業」を目指す上での、大きな折り返し地点になると考えています。新型コロナウイルスの感染拡大によって、社会全体が大変大きな転換を強いられる中、企業にとってもサステナビリティの実現は、最も重要な課題と認識しています。社会環境や人々の価値観・ニーズの変化を受け、企業活動も持つべき価値観や成長戦略、オペレーションモデル、組織構造など、大きく再考せざるを得なくなりました。

社会全体が変革を迫られる中、企業は自らの業績を向上させていくだけでなく、あらためて社会における存在意義を明らかにしていく必要があります。社会と共にあることを常に意識した持続可能な事業の追求と実行、まさに経済的価値と社会的価値の両立こそが、これからのシンクラングループの使命です。

今年度、グループ中核企業である株式会社シンクランは「顧客価値の魅せる化」を活動テーマに掲げ、事業に取り組んでいます。シンクランを取り巻くステークホルダーの皆様にとって、より必要とされ、より魅力ある価値とは何か、チームシンクランの一人ひとりが自問自答し、自らが生み出す価値を再定義し、高め直す必要があります。

また、私たちは「環境・社会・ガバナンス (ESG)」のさまざまな課題についても責任を果たすべく、物流事業をはじめとする、安全・安心の実現、環境負荷の削減、地域社会への貢献などの活動にも注力し、世界的なアジェンダである国際連合による「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に向けて、私たちの持つ強みと規模を活かした取り組みを展開していきます。

これからも事業を通じて社会的責任を果たすことに努め、ステークホルダーの皆様からの信頼を高めていくことで、更なる飛躍を遂げられるよう邁進して参る所存です。本レポートで私たちの社会的責任についての考え方と取り組みをご理解いただけましたら幸いです。



株式会社シンクランホールディングス
代表取締役社長 兼 COO
株式会社シンクラン
代表取締役社長

鶴賀 大輔 Daisuke Tsuruga

1 7つの重点項目 安全・安心《運輸安全》



SDGsのターゲットと指標	シンクラングループの目標
2020年までに、世界の道路交通事故による死傷者を半減させる。[道路交通事故による死亡率]	有責車両事故件数を半減させる(対2018年) 車両・フォークリフトの重大事故件数:0件 対車両事故率を3.8%以下に抑える。

基本方針

私たちは、「安全はすべてに優先する」をスローガンに、交通事故防止活動を推進します。トラックによる輸送を行う事業活動が地域社会、地球環境に与える影響を正しく認識し、安全マネジメントを構築し、かつ継続的に改善することにより、交通事故防止を図ります。これらを推進するため、交通事故防止の目的・目標を設定し、定期的な見直しを図ることにより、全従業員で交通事故防止活動に取り組みます。

安全運転の推進

オブジェ(運転技能自動評価システム)研修の実施 3

オブジェとはドライバーの動作と車のスピード、位置をセンサー、GPSを用いリアルタイムに計測し、ドライバーの運転時の癖、習慣を客観的に評価するシステムです。2021年はオブジェを用いた研修を全国7つの自動車学校にて41回開催し95名が受講しました。



デジタコデータの分析・配信、新たなデジタコの導入 3

従来より、ドライブレコーダー機能付デジタルタコグラフ(以下、高機能デジタコ)を、安全運転指導等に積極的に活用していました。2021年は交通安全、環境、車両の効率・資産管理等のさらなるレベルアップを図るべく、高機能デジタコを利用方法を含め全て刷新しました。2021年11月末までに全対象車両1,051台の切り替えが終わりました。



無事故表彰の実施 3

無事故・無違反者の労をねぎらい、賞賛することによりドライバーの安全へのモチベーションを高め、交通事故を撲滅するために、毎年実施しています。

- 《表彰対象》
- 10年間 無事故・無違反ドライバー
 - 5年間 無事故・無違反ドライバー
 - 1年間 無事故拠点



安全運転啓発情報の発信 3

全社の交通安全の状況、ヒヤリハット、好事例等、安全運転につながる「セーフティドライブ情報」を社内コミュニケーションアプリを使い、定期的または随時全社に発信しています。



朝の安全運転啓発活動事例の紹介

安全運転技術の向上

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社フォークリフト選手権への参加 3

コカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社が毎年開催するフォークリフト選手権に参加しています。昨年は10月中旬にエリアの予選会である西日本物流グループ統括部、首都圏物流部の代表選考会に参加し、それぞれ2位を受賞しました。11月16日に開催された決勝大会には4名が出場しました。



西日本物流グループ統括部 2位
本郷業務 山田佳祐さん



首都圏物流部 2位
日暮里営業所 渡邊美樹さん

安全運転教育の実施

初任運転者教育の実施 3

新入社員研修にてトラックの特性等、法令に基づき実施しています。2021年度は、109名が受講しました。

選任運転者登録前研修 3

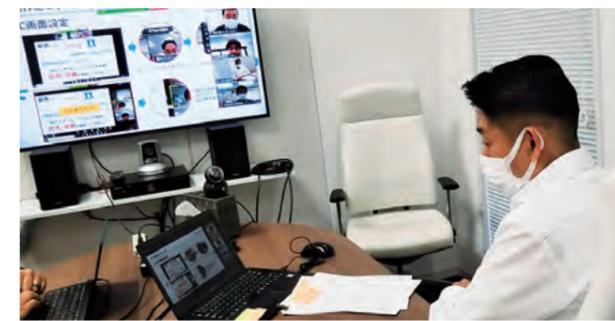
新入社員が独り立ちする前に、現場管理者による20時間以上の同乗指導教育を実施しています。

「自由参加型」運行管理講習会の開催 3

運行管理に必要最低限の基礎知識を理解し、拠点における適正化巡回指導に対応できる体制を整えることを目的として、自由参加型の運行管理業務講習会をオンラインで開催しました。「運行管理者の日常業務」、「各帳票類の管理」、「行政官庁への申請・届け出方法」などを内容として、2回のシリーズで実施しました。



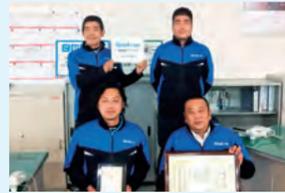
自由参加型講習会(運行管理基礎講習パート1)



トピックス

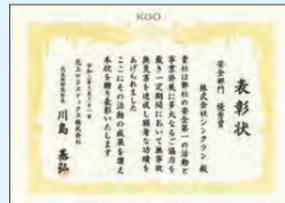
奈良県での優秀安全運転事業所に天理営業所が金賞を受賞 3

安全運転に深い理解を示し、積極的かつ適切な安全運転管理に努めるなど交通事故防止への貢献に対して表彰されました。これからも「ご安全に!!」の声掛けとともに安全最優先で活動します。



花王ロジスティクス株式会社様の安全部門表彰で優秀賞を受賞 3

2020年度の安全表彰をいただくことができました。この賞は年間の無事故・無災害を達成した事業者に贈られるもので、全国多数のサプライヤーのうち、31社が受賞し、その1社に選ばれました。今後は安全に加えて「品質」でも評価をいただき、今以上の顧客への価値提供を進化させていきたいと考えています。



株式会社ローソン様から優秀ドライバーとして表彰を受ける 3

前橋CVS営業所から星野達也さんが2020年度の優秀ドライバーに選出されました。前橋CVS営業所は開設から2年連続の受賞となります。基本行動を継続することが結果として表れました。当たり前のことを当たり前に継続し、3年連続の受賞を目指します。



前橋CVS営業所 星野達也さん

「ローソンドライバーマニュアル」のルールを遵守し、何事にも臨機応変に対応出来たこと、トラブルゼロで業務遂行出来たことが受賞の要因だと思います。

1-2 7つの重点項目 安全・安心《労働安全衛生》



SDGsのターゲットと指標	シンクラングループの目標
すべての労働者の権利を保護し、安全・安心な労働環境を促進する。[致命的及び非致命的な労働災害の発生率]	労働災害重大事故件数:0件 メンタルヘルス長欠者:0人

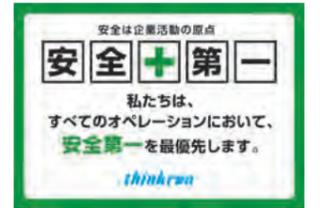
基本方針

私たちは、「従業員の健康と安全は経営の基盤である」という認識のもと、職場における従業員の健康と安全を確保し、健全で活気ある職場環境づくりを推進します。健康管理は身体だけではなく、心も含めた健康の保持・増進に努めます。安全においては、「不安全行動の排除」「不安全状態の除去」という2つの視点から取り組みます。

労働災害発生抑止

「ご安全に!!」の声掛け…安全唱和の実施 8

従業員の安全意識の向上を図ることを目的に、安全第一の浸透、組織風土の構築に向けて社内でのあいさつ時の声掛けを、従来の「おつかれさまです」から「ご安全に!!」に変えました。朝礼時に安全唱和を行い、更なる安全意識の浸透・動機づけを図っています。



安全ポスター

安全衛生委員会の開催 3 8

安全衛生管理活動の円滑な推進を図ることを目的として毎月開催し、従業員の安全と健康を保持するための対策等を検討、実行しています。

労働災害情報発信による注意喚起と発生抑止 8

労働災害発生の際、発生事象、原因、再発防止策等を社内のポータルサイトで共有・周知し、労働災害の発生抑止を図っています。

職場の安全自主点検の実施 8

安全な職場環境づくりと安全意識を高めることを目的に、夏場の繁忙期前の7月と繁忙期終了後の9月に職場の安全自主点検を行っています。

《点検対象》 車両、保護具、サイト内交通路、フォークリフト等

健康経営の推進

健康診断の実施 3

健康診断の結果を正しく把握し、今後の健康管理に活用するため、専門家から指導を受けました。2021年は、石川県予防医学協会から保健師をお迎えして、健康診断の結果の見方と活用方法について、詳細に解説していただきました。



ヘルスケア動画の配信 3

従業員の健康をサポートする体制作りの一環として、ヘルスケアに関する動画を社内のポータルサイトに定期的に配信しています。体を動かすエクササイズやストレッチングのポイント、食生活や睡眠における注意点をテーマに紹介しています。専門家から様々なアドバイスもいただき、健康を促進していきたいと考えています。



熱中症対策 ～塩分補給品の配付～ 3

マスクを着用しながらの夏場のオペレーションは、熱中症のリスクを伴います。熱中症対策として、従業員に塩分補給品を配付しています。



塩分補給品

健康に関するアンケート調査の実施 3

従業員の健康づくりについての意見、要望等を把握し、今後の健康経営推進に向けた施策立案の基礎資料とすることを目的として、全従業員を対象に健康に関するアンケート調査を実施しました。

2 7つの重点項目 顧客満足



SDGsのターゲットと指標	シンクラングループの目標
すべての人々のための包摂的かつ持続可能な経済成長を推進する。[一人当たりの実質GDPの年間成長率]	顧客満足度の向上 シェアNo.1 増収増益

基本方針

私たちは、顧客の要望・期待は何かということを常に考え続け、オペレーションエクセレンス（スピード・柔軟性・生産性）を追求することにより、顧客のご満足度を高め続けます。

顧客接点の強化

顧客とのコミュニケーション 17

毎年、顧客とともに今年度の活動を振り返り、次年度の活動につなげるための「活動振り返りミーティング」を実施しています。ミーティングでは、今年度の主な活動内容と成果、次年度に向けての課題等を共有し、相互に今後のさらなる成長を確認しています。



お客様相談窓口の設置 17

顧客を始めとして、お取引先様、地域の方々などのステークホルダーの皆様から、シンクラングループに対するご指摘、ご意見、ご要望、ご提案等をいただき、事業活動に反映させることでオペレーション品質の向上を図ることに努めています。

価値ある営業の実践

混載配送事業の拡大 6 7 8 9 12 13

配送効率の向上を目指し、複数のメーカーの製品を同一車両で小売店へ配送する混載配送事業の拡大に取り組んでいます。2021年度は、6月に福岡県の福岡エリアおよび筑後エリアで、11月に宮崎県の都城エリアで新たに開始しました。混載配送の推進は、配送効率の向上と併せて、顧客の温室効果ガスの排出量削減に寄与することが期待されます。



二室式二温度管理車両による配送効率化 6 7 8 9 12 13

常温商品とチルド商品など異なる温度帯で管理する商品を間仕切りによって1台の配送車で運ぶことのできる「二室式二温度管理車両」を展開し、配送効率化を図っています。この二室式二温度管理車両も、顧客の温室効果ガスの排出量削減につなげていきます。



オペレーション品質の向上

ベーシクトレーニング用教材の活用研修(教育ムービー活用研修) 8

所属長がメンバー育成を行うための教材として、オペレーションの基本行動を収録した「教育ムービー」を作成しています。その教材を有効に活用することを目的に、所属長を対象とした教育ムービー活用研修を実施しました。



オペレーションコンテストへの参加 8

当社の顧客である、コカ・コーラ ボトラーズジャパンベンディング株式会社が毎年開催する自動販売機のオペレーションコンテストに参加しています。2021年は、291名のCVM(カップ式自動販売機)担当者から28名の代表者を選出され、その中でシンクランからは3名のセールスパークソンが参加しました。

- 《コンテスト結果》 3位 高橋進吾さん(湘南VM営業所)
4位 池田さおりさん(原町VM営業所)
6位 塚原美樹さん(宇都宮VM営業所)



湘南VM営業所 高橋進吾さん

CVMは喫茶店、私はさながらマスターであり、自販機は従業員です。従業員(自販機)が仕事をしやすい環境を整える、そんな気持ちでメンテナンスに向かっています。

海外ビジネスモデルの進化(株式会社TEAMS)

ビジネスの対象領域 8 17

株式会社TEAMSは、お客様の飲料バリューチェーンにオペレーションサービスを提供しています。TEAMSのお客様は世界の飲料業界にかかわる会社です。お客様の売上・シェア拡大のためのチャネル開発、物流・リテール・機器メンテナンスに関する品質・コスト改善等、お客様が抱えている問題を解決し、ビジネスの成長拡大に貢献します。

TEAMSのサービス

コンサルティング	導入	運用支援 (BPO)
市場開発 オペレーションKAIZEN (機器メンテナンス、物流、VM) 人材教育	フィージビリティ調査 展開戦略/プラン策定 機材調達、設置サポート パイロットテスト、指導	オペレーション 機器リファービッシュ フィールドメンテナンス 機材/ソリューション提供

2021年の展開

中国

将来の成長の柱として堅固なベンディングチャネルを構築するために、現地ボトラー社との協同プロジェクトを再開しています。顧客の事業基盤の充実と事業成長を支援して参ります。

フィリピン

従来から支援してきた現地ボトラー社の自販機チャネル拡大に加え、SCM領域での新たな貢献機会の拡大に向け、顧客課題の深耕と提案活動を推進して参ります。

タイ

現地合弁会社であるBEVPRO ASIA社を通じて清涼飲料販売機器メンテナンス事業を展開しています。TEAMS社員が現地に駐在し、業務プロセスの改善活動や改善推進人材を育成するためのトレーニングを実施しています。変化に柔軟に対応し、事業拡大できる体制を構築して参ります。

3 7つの重点項目 コンプライアンス



SDGsのターゲットと指標	シンクラングループの目標
差別的な法律、政策、および慣行の撤廃、ならびに適切な関連法規、政策、行動の促進などを通じて、機会均等を確保し、成果の不平等を是正する。	不正・不祥事:0件 反社会的勢力との取引:0件 利益の供与:0件 内部通報事案解決:100%解決

基本方針

私たちは、コンプライアンスを事業活動の要諦と位置づけ、あらゆる法令と企業倫理を遵守し、社会的責任の観点から良識・誠実さをもって行動します。また、コンプライアンスを推進するための仕組み・体制づくりをより強化します。

コンプライアンス意識の醸成

コンプライアンスに関する情報の発信 10 16

従業員のコンプライアンス意識の向上および現場への浸透を図ることを目的に、ハラスメント、人権、ダイバーシティなどに関するテーマを設定し、その内容を解説した「コンプライアンス便り」および「コンプライアンスポスター」を社内に発信しています。



コンプライアンス便り

コンプライアンスポスター

コンプライアンス研修の実施 10 16

従業員のコンプライアンス意識を高めることを目的に、コンプライアンス研修を実施しました。

研修は各職場において所属長が講師となり従業員に対して教育する方法で行い、所属長をはじめとした管理職も含めて、全従業員がコンプライアンスの知識を持ち、正しい行動がとれるようになることを目指します。



社内自浄作用の向上

内部通報制度(企業倫理ホットライン)の運用 10 16

業務上の法令・社内規程違反の未然防止と早期発見による是正を図るため、内部通報制度(企業倫理ホットライン)を設け、窓口を社内の担当部門と社外の顧問弁護士事務所の2箇所に設置しています。

業務の合法性・合理性の確保

内部監査の実施 10 16

監査では、法令および社内規程等の諸基準への準拠性、管理の妥当性・有効性の検証等を行い、公正な立場で経営諸活動を評価し、助言・勧告・支援を実施しています。

2021年度は、50拠点を対象に監査を実施しました。



4 7つの重点項目 リスクマネジメント



SDGsのターゲットと指標	シンクラングループの目標
2030年までに、水害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。 [10万人当たりの災害による死者数、行方不明者数、直接的負傷者数]	災害発生時の死者:0人 事業所被災時の早期復旧 情報漏えい事故:0件

基本方針

私たちは、一人ひとりが様々なリスクに対して意識をもち、日頃からリスク予防・対応活動を着実に実行することにより、リスクの顕在化を防ぎ、発生してもスピードをモットーに損害を最小化し、顧客や地域社会から信頼される会社を目指します。

ERM(全社的リスク管理体制)の推進

ERMの実施 16

当社グループでは、経営の健全性確保と企業価値の向上を目的に、企業を取り巻く各種のリスクを全社的視点で管理する、ERMの推進に取り組んでいます。実施体制としては、社長をリスク管理の最高責任者(CRO)とし、リスク管理委員会にて全社的リスク管理計画を策定、車両運行管理・安全運転やオペレーション品質等の項目について、全社各部門が主体的にリスク対策を実行しています。

危機発生時の迅速な対応

リスク管理研修の実施 16

拠点の責任者である営業所長等の管理者を対象に、安全運転指導の押さえどころ、コンプライアンス行動の知識と指導法、時間管理の取り組み等を内容とした、リスク管理研修を行いました。



情報セキュリティの取り組み

情報セキュリティ基本方針 9

適切な情報管理を行うため、すべての情報資産に対する機密性、完全性、可用性の維持・向上に努め、お取引先様を含む社会全体の信用・信頼に応えられるよう、「情報セキュリティ基本方針」および「情報セキュリティ管理規程」を整備しています。

従業員の情報リテラシー向上 9

社内ポータルサイトを活用して、情報システムに関する啓発情報を発信し、従業員の情報リテラシーの向上を図っています。最近のサイバー攻撃に関する手口や対応の注意点、アプリケーションソフトのアップデート情報の案内など、タイムリーに発信しています。

5 7つの重点項目 人権尊重と従業員の働きがい



SDGsのターゲットと指標	シンクラングループの目標
2030年までに、若者や障害者を含むすべての男性および女性の、完全かつ生産的な雇用およびディーセント・ワーク、ならびに同一労働同一賃金を達成する。	研修実施率:100% 従業員定着率:92%以上 売上変動に応じた従業員充足率:100% 障がい者雇用率:2.3%以上

基本方針

私たちは、「飲料業界をもっと競争力のある仕組みに進化させ、世界の人々を幸せにする」という経営理念のもと、すべてのステークホルダーの人権を尊重します。また、人財育成・活用の促進と安全・安心な職場環境づくりを行うことで、従業員が生き生きと働き、誇りを感じる会社を目指します。

人権意識の啓発

ハラスメント研修の実施 4 10

管理職を対象として、講師の弁護士から、セクシャルハラスメントおよびパワーハラスメントの定義、ハラスメントがもたらす悪影響、ハラスメントを防ぐための管理職の行動について講義を受け、ケーススタディを行いました。



ダイバーシティの推進

障がい者雇用 8 10

障がい者の雇用を重要な社会的責務と認識し、障がい者の就労の場を提供しています。

《障がい者雇用率》 数値は各年の4月~翌3月

2018年	2019年	2020年
2.5%	2.8%	3.2%

トピックス

支援機構理事長努力賞とポスター原画作品理事長奨励賞をW受賞 8 10

石川労働局、石川県、高齢・障害・求職者雇用支援機構主催「令和3年度障がい者雇用優良事業所等表彰」において、シェアードサービス室の山口祐典さんが受賞しました。

《支援機構理事長努力賞》
 不断の努力により、障がいを克服し、皆の模範となる就業態度や行動に対して受賞
 《ポスター原画作品理事長奨励賞》
 全国からたくさんの応募の中で、優秀なものと認められ受賞



山口祐典さん(右側)

ポスター原画

ワークライフバランスの推進

時間管理の推進 8

事業所、従業員それぞれに基準時間を設定しています。
 本社タイムマネジメント部門より週次進捗管理データを各事業所に配信して、管理者による細やかな指導を行い労働時間の平準化、時間創出へつなげています。

時間創出

コミュニケーション
社内コミュニケーションの充実 顧客やお得意様とのコミュニケーション
家族
効果的/計画的な有給休暇取得の促進 家族旅行やイベントなどへの時間
自己成長
社内研修や自己啓発への時間 資格や様々な免許取得
社会貢献
社会福祉活動などのボランティア活動 災害復興支援や環境保全活動

在宅勤務、時差勤務の推奨 8

働き方改革の一環として、間接部門を中心に在宅勤務(リモートワーク)および時差勤務を推奨し、実施しています。

人事系システムのデジタル化推進

人事管理システムの導入 8

新たなシステムでは、常に最新の従業員情報を一元管理することができ、さらに年末調整や雇用契約などの労務手続きやWeb給与明細の発行などさまざまな人事・労務業務に対応しています。
 これにより人事・労務の業務効率化と働くすべての人の生産性向上を図ります。



人財の開発

階層別研修の実施 4

階層別にテーマを設定した教育・研修を行っています。
 2021年は、管理者層、監督者層、一般層の全体で、延べ576名が研修を受講しました。

階層	研修	受講者数
管理者層	新任管理者研修	384
	新任管理者フォローアップ研修	
	教育ムービー活用研修	
	リスク管理講習会	
	リスク管理研修(上期、下期) TEAM of TEAMSブートキャンプ	
監督者層	新任監督者研修	60
	新任監督者フォローアップ研修	
	VMプロジェクト研修	
一般層	新入社員研修	132
	VMプロジェクト研修	
合計		576

従業員の状況

		人数 (単位:人)	平均年齢 (単位:歳)
正社員	男性	1,913	38.7
	女性	147	40.0
	計	2,060	38.8
パートナー社員	男性	624	42.4
	女性	280	39.5
	計	904	41.5
合計	男性	2,537	39.6
	女性	427	39.7
	計	2,964	39.6

※2021年12月15日現在
 ※対象:株式会社シンクランホールディングス
 株式会社シンクラン
 株式会社TEAMS
 株式会社ONE MISSION
 株式会社ディーアールネット

6 7つの重点項目 地域社会との共生



SDGsのターゲットと指標	シンクラングループの目標
持続可能な開発アジェンダを成功に導くためには、各国政府と民間セクター、市民社会のパートナーシップが必要です。	地域社会への積極的な貢献活動を通じて、ステークホルダーからの信頼を向上させる。

基本方針

私たちは、良き企業市民として、地域のスポーツ、文化、安全、福祉などの活動を積極的に支援し、地域社会から信頼される企業を目指します。

スポーツ活動の支援、スポーツ振興事業への協力

インクルージョンボール事業への協力 17

シンクランは、ロジスティックパートナーとしてボールの集荷および保管場所までの輸送を無償で行っています。



《インクルージョンボール事業に協力している事業所》

- 札幌営業所
- 札幌西営業所
- 旭川営業所
- 稚内営業所
- 滝川営業所
- 北見営業所
- 釧路営業所
- 函館営業所
- 室蘭登別営業所



インクルージョンボールとは

糸がほつれて使用できないまま各学校・チームに保管されている硬式野球ボールを回収し、障がい者就労支援施設で補修、そのボールを循環させて再利用する仕組みで、“障がい者の就労支援”と“ボールのリサイクル”を両立する社会貢献・スポーツ振興事業です。
この事業は、NPO法人北海道野球協議会に加盟するプロ野球の北海道日本ハムファイターズや社会人、大学、高校野球チームと障がい者就労支援施設、企業等が協働して取り組んでおり、2021年度は、6,314球の納品が行われました。

地域安全活動の推進

交通安全教室の開催 3 17

地域の安全を推進することを目的に、石川県警察と連携して、交通安全教室を開催しています。昨年は、コロナ禍により開催を見合わせましたが、今後も継続してまいります。



過去の開催の様子

7 7つの重点項目 環境推進



SDGsのターゲットと指標	シンクラングループの目標
2030年までに、資源利用効率の向上とクリーン技術および環境に配慮した技術・産業プロセスの導入拡大を通じたインフラ改良や産業改善により、持続可能性を向上させる。すべての国々は各国の能力に応じた取り組みを行う。 [付加価値の単位当たりのCO ₂ 排出量]	環境への取り組みを強化し、脱炭素化に向けてCO ₂ 排出量を削減する。 全社燃費:5.25km/ℓ以上

基本方針

私たちは、「飲料業界をもっと競争力のある仕組みに進化させ、世界の人々を幸せにする」という経営理念のもと、地球環境保全、地域環境推進活動に積極的に取り組み、持続可能な社会の発展に貢献します。

エネルギーの削減

トッランナー基準車の積極導入 7 9 11 12 13

省エネ法に基づく燃費基準(トッランナー基準)を充たした車両を積極的に導入しています。燃費向上による使用燃料の削減を図ることで、温室効果ガス(CO₂)の削減を目指しています。

《2021年12月末現在》 車両台数(1.1トン以上):1,368台
トッランナー基準車:1,179台 86.2%



環境の保全

地域美化活動への参加 6 14 15

自治体等により各地で行われる地域美化活動に参加しています。



クリーングリーン作戦(函館営業所)



梅田川清掃活動(仙台営業所)

アンケートのお願い

今後のSDGsへの取り組みや、レポート制作の参考にさせていただくため、アンケートを実施しています。皆様のご感想やご意見などをお聞かせください。下記のURLまたはQRコードよりアクセスしてください。

<https://forms.gle/DdKVYGynqrWTYtXV9>



このレポートは、環境等に配慮した制作・印刷方法を採用しています。

用紙に関する配慮



このレポートは、FSC®認証紙を使用しています。

インクに関する配慮



環境負荷の少ない植物油インクを使用しています。

印刷に関する配慮



この印刷製品は、環境に配慮した資材と工場で製造されています。

印刷に関する配慮



印刷工程において有害廃液を出さない「水なし印刷」を採用しています。

書体に関する配慮



レポート本文には見やすく読み間違いにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。